

令和元年度 財政事情の公表

市では、毎年6月と12月の年2回、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているかを知っていただくため、財政事情を公表しています。今回は令和2年3月末現在の一般会計、特別会計の予算執行状況をお知らせします。

☎理財課 ☎(21) 0206

○一般会計 予算執行状況(表①)

歳入				歳出			
項目	予算額	収入済額	執行率	項目	予算額	支出済額	執行率
市税	38億4191万円	38億5296万円	100.3%	総務費	37億8194万円	31億136万円	82.0%
地方交付税	94億9879万円	97億9892万円	103.2%	民生費	57億8722万円	41億7883万円	72.2%
国庫支出金	29億5128万円	19億4260万円	65.8%	衛生費	21億9364万円	17億8725万円	81.5%
県支出金	10億9327万円	6億1672万円	56.4%	農林水産業費	10億3948万円	9億1315万円	87.8%
繰入金	9億7225万円	9億4249万円	96.9%	商工費	3億9342万円	2億7743万円	70.5%
諸収入	7億7593万円	4億6818万円	60.3%	土木費	17億2266万円	10億6468万円	61.8%
市債	33億932万円	6億2141万円	18.8%	消防費	7億3715万円	7億1207万円	96.6%
その他	29億848万円	28億3638万円	97.5%	教育費	37億3655万円	24億9553万円	66.8%
合計	253億5123万円	210億7966万円	83.2%	災害復旧費	21億6484万円	7億4245万円	34.3%
				公債費	35億5046万円	35億4862万円	99.9%
				その他	2億4387万円	2億3049万円	94.5%
				合計	253億5123万円	190億5186万円	75.2%

※市の会計年度は4月1日から翌年の3月末日までですが、3月末日までに確定した歳入・歳出の収入・支払いの整理期間が必要なため、5月末日までがその期間として設けられています。このため、3月末現在の執行率は予算額に対して約75%となっています。

○特別会計 予算執行状況(表②)

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険(事業勘定)	38億1654万円	33億6379万円	88.1%	34億9787万円	91.7%
国民健康保険(直診勘定)	7161万円	1069万円	14.9%	6189万円	86.4%
へき地診療所	1885万円	440万円	23.3%	1612万円	85.5%
後期高齢者医療	5億1075万円	5億103万円	98.1%	5億455万円	98.8%
介護保険(事業勘定)	49億7644万円	41億1813万円	82.8%	45億2764万円	91.0%
介護保険(サービス勘定)	8744万円	1385万円	15.8%	8685万円	99.3%
養護老人ホーム	1億9389万円	1億2413万円	64.0%	1億7812万円	91.9%
特別養護老人ホーム	2億6024万円	2億1185万円	81.4%	2億4691万円	94.9%
住宅新築資金等貸付事業	7103万円	200万円	2.8%	7103万円	100.0%
畑地かんがい事業	2189万円	1798万円	82.1%	1920万円	87.7%
簡易水道事業	9億8789万円	9億5589万円	96.8%	9億4812万円	96.0%
下水道事業	13億1642万円	11億864万円	84.2%	9億6668万円	73.4%
地域開発事業	5938万円	2577万円	43.4%	1482万円	25.0%
巨瀬財産区	452万円	310万円	68.6%	25万円	5.5%
宇治財産区	586万円	440万円	75.1%	0万円	0.0%
有漢財産区	234万円	189万円	80.8%	129万円	55.1%
合計	124億509万円	104億6754万円	84.4%	111億4134万円	89.8%

○企業会計 決算見込(表③)

水道事業	収益的収入	3億5319万円	収益的支出	3億1588万円
	資本的収入	1億2205万円	資本的支出	1億8693万円
病院事業	収益的収入	14億9562万円	収益的支出	15億5919万円
	資本的収入	3497万円	資本的支出	8266万円

一般会計

令和元年度の最終予算は253億5123万円となっています(表①参照)。

歳入・歳出の執行率はそれぞれ83・2%、75・2%で、歳入における市の自主財源は、市税・使用料・手数料・繰入金・諸収入などを合わせると70億2224万円となり、収入済額の約33%に当たります。

取り組んだ主な事業

復旧・復興事業

平成30年7月豪雨などの災害からの一日も早い復旧へ向け、平成30年度に引き続き、農林、土木、公共施設の復旧工事や被災者への支援、今後の大規模災害への防災対策を行いました。

- 河川監視カメラの整備
- 浸水マップの全戸配布、防災訓練の実施、自主防災組織の活動促進事業補助
- 水難救助用の救命ボート、水防資機材、救命胴衣の整備
- 簡易水道水源池の浸水対策
- 高梁雨水ポンプ場4号ポンプの設計委託

○島木川内水排除ポンプの更新整備

○被災住宅の応急修理

○中小企業等再建補助金、金融資料子補給、中小企業診断士の派遣費用補助

○公共土木、農林施設、公営住宅の災害復旧

- 新規就農総合対策事業
- 有害鳥獣被害防止対策事業
- プレミアム付商品券事業
- 地域商業活性化支援事業
- 若者定住促進住宅助成事業
- 空き家バンク活用促進事業

心のつながりを大切に支えあい助けあう安心のまちづくり

- 放課後児童健全育成事業
- 一時預かり事業
- 保育士確保対策事業
- 風しん抗体検査・予防接種実施事業
- 障害者相談支援事業
- 障害者日中一時支援事業

美しい自然環境と快適な生活基盤が調和した共生のまちづくり

- バイオマス活用推進事業
- 小型動力ポンプ・防火水槽・ホース乾燥塔等整備事業
- 岡山自動車道付加車線設置推進事業
- 道路新設改良・法面・橋梁等老朽化対策事業
- 簡易水道整備・簡易水道上水道統合事業
- 浄化センター・雨水ポンプ場・公共棟等整備事業
- 地方バス路線維持支援事業

地域文化と心豊かな人を育てるまちづくり

- ICT活用教育事業
- 遠距離通学事業
- 旧吹屋小学校校舎保存修理事業
- ヒルクライムチャレンジシリーズ開催事業

市民と行政の協働と連携で自立するまちづくり

- 町内会支援事業
- 国際交流関係事業
- 成羽複合施設整備事業

特別会計

国民健康保険、介護保険、簡易水道、下水道など16の特別会計予算総額は、124億509万円となりました。各会計の予算額と執行状況については表②のとおりです。

上水道・病院の企業会計の決算見込みについては表③のとおりです。

地方債の残高

令和元年度末における普通会計※1の地方債※2残高は329億3757万円で、前年度に比べ約1億3995万円の減額となりました。

市民1人当たりに換算すると約111万円になりますが、元金や利息の償還を国が交付税などで補てんする地方債を借り入れているため、実質的な負担は1人当たり約33万円となります。

基金の現在高

令和元年度末の基金(※3)現在高は、普通会計で75億2381万円となっています。

※1 普通会計

市の会計区分は一般会計のほか、特定の事業を行うための特別会計と公営企業会計に分かれています。このうち、一般会計と公営事業に属さない特別会計を合わせた会計のことを普通会計といいます。

普通会計に区分される特別会計

へき地診療所、養護老人ホーム、住宅新築資金等貸付事業、畑地かんがい事業

※2 地方債

地方公共団体が事業を行うに当たって資金調達のために行う債務(借金)のことで、市債ともいいます。

※3 基金

特定の目的のために資金を積み立てた財産(預金)のこと。